

# 多機能型事業所 重症児デイサービス実のり 支援プログラム

**事業所理念** 実のりある日々のお手伝いをします。

- 支援方針**
- ・多職種で連携し、子どもたちとその家族を中心とした支援を行います。
  - ・安心安全な環境で子どもたちに安らぎの場を提供します。
  - ・個々に合わせた療育活動で子どもたちの生活を豊かにします。

- 家族支援**
- ・相談しやすい雰囲気づくりを行い、家族の悩みに向き合います。
  - ・家族の参加できる催しを企画し、交流の場を作ります。
  - ・送迎時に児の様子を共有する時間を設け、かつ連絡帳にて情報共有を行います。

- 移行支援**
- ・児の発達に合わせて保育所への移行支援を行います
  - ・就学時や発達段階に合わせて情報提供を行います。

- 地域支援**  
**地域連携**
- ・地域住民に事業所のことを知ってもらう機会を設け、連携に努めます。

**職員の質の向上**・事業所内での年間研修計画に加えて外部の研修に参加し、職員が積極的に学ぶ環境を整えます。

- 主な行事等**
- ・季節行事(夏まつり、ハロウィン、運動会、クリスマス会等)
  - ・親子参加型の催し(事業所解放)
  - ・各月の誕生日会
  - ・社会体験活動、遠足、避難訓練
  - ・食育活動(ぺろりday)

## 本人支援(未就学児)

### 健康・生活

- ・日々の状態を観察し、きめ細やかな健康管理を行います。
- ・生活リズムを整えることができるようスケジュールを組んで支援をします。
- ・排泄、食事、更衣、手洗い、うがい等の基本的生活動作を楽しみながら取り組めるように支援します。
- ・必要な医療的ケアを医師の指示の元で行います。

### 運動・感覚

- ・理学療法士による毎日の専門的な機能訓練で、円滑な日常生活が送れるように基本動作の獲得を目指します。
- ・日々の療育活動に運動療育や感覚遊びを取り入れ、機能の発達を促します。
- ・シーツブランコ等のムーブメント療法を取り入れ、筋力の維持ができるようにします。
- ・ぺろりdayを設けることで味わい・感覚刺激を促し成長を育みます。

### 認知・行動

- ・音楽療法により、音の理解や音を出す行動を認知できるように支援します。
- ・想いを伝えることができるように子どもたちの気持ちを代弁しながら意思決定支援を行います。
- ・色々な経験に触れる中で自ら手を伸ばし自発的な行動を大切にしていきます。
- ・活動ごとに声掛けを行うことで1日の流れを把握できるように支援します。
- ・旬の食材を味わったり、クリスマスやハロウィン等の行事を楽しみながら季節の移り変わりを感じます。

### 言語

- ・子どもたちの視線や表情から想いをくみ取ることで、自己を表現する力を育みます。
- ・たくさん話しかけて会話を楽しんだり、抱っこや身体に触れてスキンシップをとってコミュニケーションを楽しみます。
- ・マンツーマンの支援で密に関わることにより感情の表出を助けます。
- ・子どもたちの成長を共に喜び、お友だちや職員と触れ合うことで伝えたい想いを形にします。

### 人間関係 社会性

- ・療育活動で遠足を取り入れ、集団行動を行うことで社会性を身につけられるよう支援をします。
- ・リトミックやクッキング、スノーズレン等の集団療育を通してお友だちを作っていきます。
- ・表現、身振り、まなざし等、コミュニケーション手段を引き出し、集団で気持ちを共有することで協調性を育みます。

# 本人支援(就学児童)

## 健康・生活

- ・日々の状態を観察し、きめ細やかな健康管理を行います。
- ・排泄、食事、更衣、手洗い、うがい等、それぞれのペースでできることを増やしていき生活の幅を広げます。
- ・必要な医療的ケアを医師の指示の元で行います。
- ・学校と連携をし、子どもたちの状態を共有します。

## 運動・感覚

- ・理学療法士による毎日の専門的な機能訓練で、円滑な日常生活が送れるように基本動作の獲得を目指します。
- ・日々の療育活動に運動療育や感覚遊びを取り入れ、機能の発達を促します。
- ・シーツブランコ等のムーブメント療法を取り入れ、筋力の維持ができるように支援します。
- ・ぺろりdayを設けることで味わい・感覚刺激を促します。

## 認知・行動

- ・音楽療法により、音の理解や音を出す行動を認知できるように支援します。
- ・指差し、ジェスチャー、表情等、それぞれにコミュニケーションが取りやすい方法や実践しやすいものを見つけて伝えることを楽しんでいき生活できるように支援します。
- ・色々な経験に触れる中で自ら手を伸ばす等の自発的な行動を大切にしていきます。
- ・旬の食材を味わったり、クリスマスやハロウィン等の行事を楽しみながら季節の移り変わりを感じます。

## 言語

- ・子どもたちの視線や表情から想いをくみ取ることで、自己を表現する力を育みます。
- ・職員から積極的に子どもたちへ選択する機会を設けることで、表情やジェスチャー等の非言語的コミュニケーションの表現力を養います。
- ・マンツーマンの支援で密に関わることで感情の表出を助けます。
- ・子どもたちに合わせて絵本の読み聞かせや見ることで言語の理解を深めます。

## 人間関係 社会性

- ・療育活動で遠足を取り入れ、集団行動を行うことで社会性を身につけられるよう支援をします。
- ・公共の乗り物を使用して外出し、交通ルールや公共のマナーに関する知識を養います。
- ・リトミックやクッキング、スヌーズレン等の集団療育を通してお友だちを作っていきます。
- ・クッキング等の集団療育で皆で1つの物を作る達成感を感じることができるよう支援します。
- ・表現、身振り、まなざし等のコミュニケーション手段を引き出し、集団で気持ちを共有することで協調性を育みます。